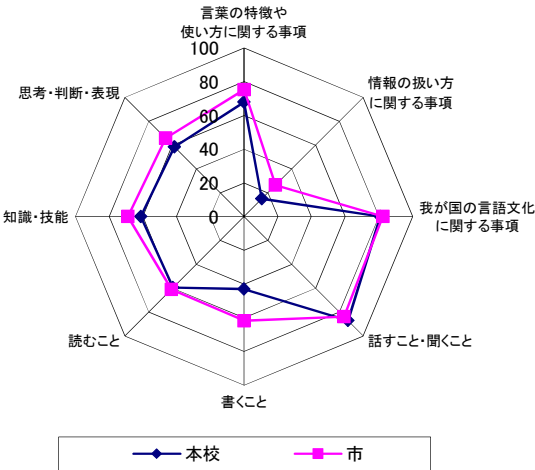


宇都宮市立陽光小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	67.9	75.3	77.1
	情報の扱い方に関する事項	14.9	26.5	27.8
	我が国の言語文化に関する事項	80.9	82.4	81.0
	話すこと・聞くこと	87.2	83.9	84.2
	書くこと	42.9	61.7	64.5
	読むこと	59.6	60.9	61.0
観点別	知識・技能	61.2	68.8	70.3
	思考・判断・表現	58.4	65.8	67.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

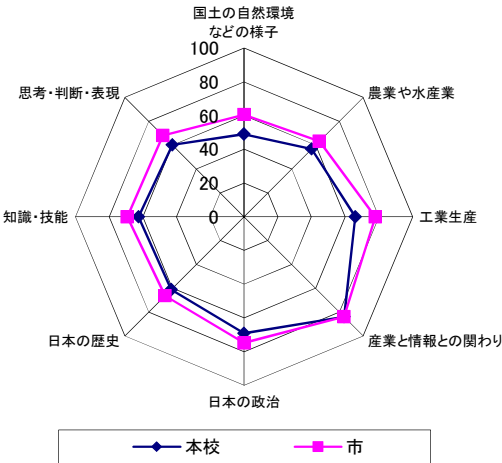
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や 使い方に関する事項	本領域の平均正答率は、市の平均よりも低い。 ○●6学年に配当されている漢字について答える問題については正答率が高いが、5学年の配当漢字についての正答率は低い。 ●敬語の使い方の問題では、身内の者が主語の場合は謙譲語を使うが、尊敬語を使うことが正しいと回答した割合が多かった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・漢字を正確に読み書きできるように、朝の学習やミニテスト、家庭学習において繰り返し学習をするようにさせる。また、AIDリルなどを活用し、前年度までの配当漢字についても復習を図る。 ・敬語の使い方については、日常生活も含め継続的に指導することで、理解するだけでなく活用できる力も身に付けていくようにさせる。
情報の扱い方 に関する事項	本領域の平均正答率は、市の平均よりも低い。 ●2つの資料をもとにすることを条件とし、前後の文に合わせて文章を書く問題では、市の平均正答率と比べてとても低い。	・情報を取捨選択したり、整理したりする力を高めるために、国語以外の学習でも、内容を要約したり、作者の意図を自分の言葉で文章化したりするなどの活動を意図的に取り入れていく。
我が国の言語文化 に関する事項	本領域の平均正答率は、市の平均よりも低い。 ●和語と漢語の違いを理解していない回答が見られた。	・和語、漢語、外来語の違いを理解できるよう、授業の中で取り扱う言葉がどれに当たるのかを区別させるなど、言語文化に触れる機会を増やしていく。
話すこと・聞くこと	本領域の平均正答率は、市の平均よりも高い。 ○インタビューを聞いて内容を捉えて、前後の文章に合わせて簡単な文を書く問題では、市の平均と比べて高い。	・他者の意見との共通点や相違点を聞くなどのポイントや要点を落とさないようにするなどのメモの取り方について指導するとともに、様々な話し合いの場を設定し、能力のさらなる向上を図る。
書くこと	本領域の平均正答率は、市の平均よりも低い。 ○どのような工夫をして報告文の下書きを書いているかを理解する問題では市の平均と比べて高い。 ●2つの案に対して、自分が賛成するものだけではなく予想される反論とそれに対する意見を書く問題では、市の平均と比べてとても低い。	・指定された長さで文章を書いたり、自分の意見とその理由を明確に書いたりする学習活動を意図的に設定する。 ・自分の意見と理由に加えて、反対の意見やそれに対して自分はどんな意見があるかを多面的に考えることができるように、他教科においても書く活動を適宜設定する。
読むこと	本領域の平均正答率は、市の平均よりも低い。 ○物語文に関する問題については、市の平均と比べて高いものが多い。 ●説明文に関する問題については、市の平均と比べて低いものが多い。	・説明文では、話題と結論を意識し、指示語の示す内容や段落のつながりを捉えたりさせることで、学習内容を理解することができるようにさせる。 ・日頃から新聞記事や、図書などを授業の中で活用し、必要な情報を読み取ったり、自分の考えをまとめたりする学習を意図的に取り入れる。

宇都宮市立陽光小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	48.9	60.5	65.8
	農業や水産業	56.7	63.3	66.0
	工業生産	66.0	77.9	75.7
	産業と情報との関わり	84.0	83.8	76.6
	日本の政治	69.1	74.9	74.1
	日本の歴史	61.2	66.3	68.3
観点別	知識・技能	62.5	69.3	71.4
	思考・判断・表現	60.2	68.1	66.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

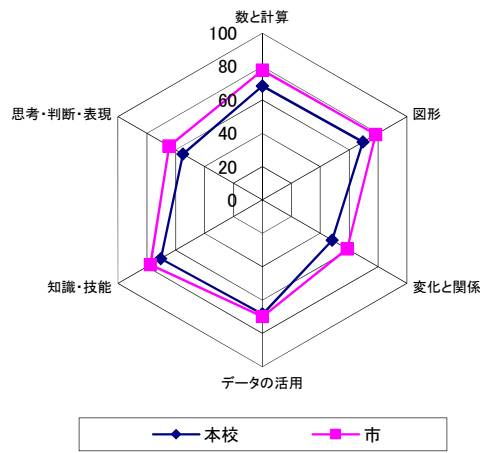
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	本領域の平均正答率は、市の平均よりも低い。 ●日本の周辺の海洋名に関する事項への理解が市の平均より低い。 ●公害についての理解が低い。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・地図や地球儀の活用や、白地図の作業をとおして、日本やその周辺の国土の把握に努める。 ・新聞やニュース等からの情報なども活用して、現在も公害で苦しんでいる方がいることなどを考えさせるようにする。
農業や水産業	本領域の平均正答率は、市の平均よりも低い。 ●日本の主な食料の自給率についての理解が市の平均より下回っている。	・日本の主な食料に関する話題や、食料自給率についての課題などを取り上げていくことで、農業や水産業に対する関心を高めていく。
工業生産	本領域の平均正答率は、市の平均よりも低い。 ●日本の主な輸出品・輸入品についての理解が市の平均より下回っている。	・日本の工業等に関する話題や、それらが抱える課題などを取り上げて追究させることで、工業に対する関心を高めていく。
産業と情報との関わり	本領域の平均正答率は、市の平均よりもやや高い。 ○「情報の発信と受信の注意点に関する問題では、市の平均を上回っている。	・多くのメディアの特徴や活用の仕方について、児童の生活と結び付けながら考えさせていく。
日本の政治	本領域の平均正答率は、市の平均よりも低い。 ○平和主義の基本的な考え方についての理解は、市の平均を上回っている。 ●基本的人権の尊重の基本的な考え方についての理解は、市の平均を下回っている。	・日本国憲法の復習を行い、日常生活とのつながりを意識させていく。
日本の歴史	本領域の平均正答率は、市の平均よりも低い。 ○豊田秀吉の業績についての理解は、市の平均を上回っている。 ●鎖国についての理解は、市の平均を下回っている。	・歴史的な出来事や活躍した人名などを関連させることで、時代ごとの特徴を正しく把握させたい。 ・得た情報を整理したり関連付けたりする活動を取り入れ、学習して分かったことや考えたことを、自分で文章に表現する力をつけさせたい。

宇都宮市立陽光小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	68.3	77.7	78.6
	図形	69.6	78.4	74.4
	変化と関係	48.2	58.7	53.0
	データの活用	68.4	69.9	57.2
観点別	知識・技能	70.3	77.5	74.0
	思考・判断・表現	55.0	64.5	58.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

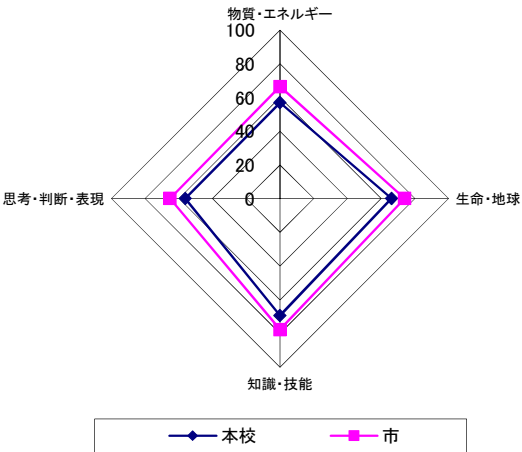
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	本領域の平均正答率は、市の平均正答率よりも低い。 ●小数や分数の乗法・除法の計算、異分母の分数の減法の計算は、市の平均正答率を10ポイント以上下回っている。 ●基準量が分数の場合に分数倍の比較量を求める問題や、基準量や比較量が分数の場合比較量が基準量の何倍かを求める式を選ぶ問題は、市の平均を下回っている。	・朝の学習の時間や家庭学習において、基礎的・基本的な学力の定着を図る取り組みを継続していく。少人数指導担当を活用して、個別での指導を充実させる。 ・基準量や比較量が分数の場合や分数倍などの分かりにくい問題では、数直線や図などをかいて考えたり、そこから数の大小や倍の関係を考え立式したりできるよう繰り返し指導する。
図形	本領域の平均正答率は、市の平均正答率よりも低い。 ○半径が与えられた円の面積を求める問題は、市の平均正答率を上回っている。 ●2つの角が与えられた三角形の1つの外角を求める問題は、市の平均を下回っている。 ●図に示された四角形の内角の和の求め方を、前例に倣って説明する問題では、正答率が21.3%と低く課題が見られる。	・三角形の内角の和を応用した問題や四角形の内角の和の求め方での正答率が低いので、内角の和の仕組みについて復習するとともに、普段の授業の中で多様な考え方があることを、児童同士の話し合いの中で認め合えるようにする。 ・言葉や数、式を書いて説明する学習を繰り返し行い定着を図る。
変化と関係	本領域の平均正答率は、市の平均正答率よりも低い。 ●分速を秒速や時速に直す問題は、市の平均正答率を下回っている。 ●百分率について理解し、割引後の値段を求める式を選ぶ問題は、市の平均正答率を下回っている。	・速さの単位の関係をもう一度振り返り、分速を秒速や時速に直すような練習問題を繰り返し解かせ、確かな定着を図る。 ・割合については、基礎・基本の問題を解くと同時に問題場面を図や数直線にして表す作業などを取り入れたり、立式に必要な知識を確認したりする。
データの活用	本領域の平均正答率は、市の平均正答率よりも低い。 ○ドットプロットから最頻値と中央値を読み取る問題や度数分布表を完成させる問題は平均正答率を上回っている。 ●ヒストグラムの特徴をもとに、平均値付近の記録がいちばん多いわけではないことを説明する問題は、市の平均正答率を下回っている。	・正しいと思ったことや正しくないと思うわけを相手に伝えるように説明するためのより良い表現の仕方を示し定着を図る。

宇都宮市立陽光小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	56.8	66.5	66.3
	生命・地球	66.1	74.0	72.6
観点別	知識・技能	69.3	77.6	78.2
	思考・判断・表現	56.2	65.3	63.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	本領域の平均正答率は、市の平均よりも低い。 ○メスシリンダー、ろうとの使い方に関する問題については、市の平均と比べて高い。 ●特にふりこの実験操作の誤りの説明をしたり、未知の水溶液を特定する実験についてどのように進めればよいかを答えたりする問題は、市の平均と比べてとても低い。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・実験の際には、どんな流れであれば知りたい結果が求められるかを考えたり、誤ったやり方を紹介したりすることで、学習内容を深く理解できるようにさせる。 ・実験や観察の結果からの考察できることを自分の言葉でまとめる習慣づけをするようにさせる。
生命・地球	本領域の平均正答率は、市の平均よりも低い。 ●特に台風の発生と進路に関する問題や植物のつくりやはたらきに関する問題は、市の平均と比べてとても低い。	・理科で学習した内容と身の回りの事象との関連を意識して生活することができるように、声掛けや課題の出し方を工夫していく。 ・実験で本物に触れさせるとともに、動画資料などを有効的に活用し、知識の定着を図る。 ・AIDリルなどを活用して、学習内容の定着と様々な発問に慣れるようにさせる。

宇都宮市立陽光小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・授業改善(学力向上アドバイザー事業への参加)	・導入で学習課題(ねらい)の共有を図る。 →効果的な学習の振り返りを促す。 →どの教科でも振り返る時間を設定する。 内容・感想・次時に何を学ぶかを書くようにする。	・3年生以上の学年において「学校の授業がどの程度分かりますか。」の質問項目では、肯定割合が90%以上であり、授業内容は概ね理解している。
・「書く」力の向上	・書き方パターンから指導する。 →書く型を身に付ける。(安心して分かりやすくどの子にも書ける支援) ・自分で考える習慣を身に付けさせる。 →自分の考えを書く時間を授業中に設定する。 ・消したり書き直したりする負担を減らすために、ICTを活用する。	・3年生以上の学年において「じゅ業で習ったことを、自分なりに分かりやすくノートなどにまとめている。」の質問項目では、肯定割合が73.9%～83%であった。概ね「書く」習慣ができています。
・ICTの効果的な活用	・スクールタクトなどを活用し、学習指導の充実を図る。 ・AIドリルを活用し、学習の定着を図るようにする。	・3年生以上の学年において「インターネットやパソコンをり用して、学習にかんするじょうほうをえている。」の質問項目では、3年生が79%, 4年生が89.1%, 5年生が88.7%, 6年生が94%であった。高学年に上がるほど文章入力や学習のまとめ、発信にまで活用することができている。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・基礎・活用ともに学力低下が認められた。 (6年生)	・児童の習熟度に合わせた少人数指導によるきめ細やかな指導 ・言語活動の充実(書く活動の工夫)	・単元毎にレディネステストを行い、担任と少人数担当が連携を密に取りながら一人一人の学習状況に合わせた指導に取り組む。 ・読み・書きに特化した授業改善を図る。折に触れ、低学年は文字慣れと視写、中学年は読書習慣と行事作文、高学年は文脈を捉えた感想交換と意見文に取り組ませる。
・児童質問紙から授業への取り組みや学習に対する気持ちや態度は、市の平均と同等であったが、深い学びにつながっていない様子が日々の授業からうかがえる。	・授業力向上を目指した校内研修の充実	・県の学力向上事業に取り組み、学力向上アドバイザーのアドバイスを受けながら、分かりやすくきめ細やかな指導を目指した授業改善に努めていく。